

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2025年度)

専門分野区分	e-ビジネス	科目名	e-ビジネスマネジメント				科目コード	T1981B1		
配当期	後期	授業実施形態	通常				単位数	4 単位		
担当教員名	廣本 亜矢子	履修グループ	選択				授業方法	講義		
実務経験の内容	2007年に株式会社ワイドブック設立。役員として会社の経営に携わるとともに、人材育成コンサルタント(現職)として若い世代の人材育成、企業内人材育成に携わっています。主な活動内容として、ICT活用関連の検定試験ブランディングコンサルティングの実施、自治体や企業における基本行動分析・改善プロジェクトの実施、企業や文科省関連事業のe-learning化における学習用コンテンツ制作(画面、テンプレートデザイン、イラスト等制作を含む)、映像編集等の実務、及び一連のプロジェクト運営など手広く取り組んでいます。									
学習一般目標	この講座では、経営者の視点や、幅広く多様な視点観点からマネジメントを理解することを目指としています。ビジネスモデルやマーケティング、イノベーションといった概念を理解すると同時に、経営者(マネジャー)目線で、社会で取り上げられるニュースや話題、関連する技術などを広く情報収集できるようにし、今後の社会での活躍に応用するきっかけをつかめるようにします。									
授業の概要および学習上の助言	講座内では、IT関連企業の経営者、楽天の三木谷浩史(みきたにひろし)さんや、ソフトバンクの孫正義(そんまさよし)さん、サイボウズの青野慶久(あおのよしひさ)さんなど有名な企業の経営者をはじめ、最近IT技術を活かしたビジネスで起業したビジネスリーダーたちも取り上げます。社会に出る前のウォーミングアップとしての受講もおすすめします。ビジネスの知識は必要ありません。									
教科書および参考書	教科書:「e-ビジネスマネジメント」(株)ワイドブック発行									
履修に必要な予備知識や技能	e-ビジネスデザイン技術、問題解決と企画提案の内容を理解していると、より理解が深まります。(受講の条件ではありません)									
使用機器	プロジェクターとスクリーンを使用します。									
使用ソフト										
学習到達目標	学部DP(番号表記)		学生が到達すべき行動目標							
	2		マネジメントとは何かを理解し、経営者の問題解決に自身の技術を応用させるという観点で捉えることができる。							
	2		ビジネスモデルとマーケティングの概念を理解し、経営者の視点からIT、ICTの活用を考えることができる。							
	2/3		多様な視点からマネジメントに必要な要素を見つけ出し、自身の技術の活用に応用する観点で捉えることができる。							
	3		様々な経営者の経営手腕や創意工夫に触れ、それらを自身の考え方に取り入れ、新たな考え方や、柔軟な考え方で技術の応用に活かす方向で物事を捉えることができる。							
	2/4		授業で学ぶマネジメントノウハウをどのように活用できるかを自身で考え、発表することができる。							
達成度評価	評価方法		試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	学部DP	1.知識・理解								
		2.思考・判断		40	10	10				60
		3.態度		20						20
		4.技能・表現			10	10				20
		5.関心・意欲								

	総合評価割合		60	20	20				100
評価の要点									
評価方法	評価の実施方法と注意点								
試験									
小テスト	授業内のワークや提出課題等により評価します。グループ演習での報告メモ等も評価に含みます。								
レポート	課題解決型授業1、課題解決型授業2の課題レポートの内容を評価します。								
成果発表(口頭・実技)	グループワークの成果物について発表を行い、その内容を評価します。								
作品									
ポートフォリオ									
その他	出席率が著しく低い場合は、不可となることがあります。								

授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	オリエンテーション ・シラバス説明 - マネジメントとは ○到達目標 ・マネジメントとは何かを理解する ○授業内容 ・マネジメントの基本を文献等から探る ・自身の開発等の活動をマネジメントに着目して振り返り、課題抽出を行う	講義と演習 フィードバック VTR視聴とレポート	【提出課題】あり ユニバ[授業資料]に提示 (googleフォーム使用) ※課題の返却はしないが、必要に応じて次回以降の授業で課題の振り返りを実施する
第2回	ビジネスモデルとマネジメント ○到達目標 ・様々なビジネスについてマネジメントする側からの目線で理解する ○授業内容 ・企業が行う事業の仕組みを知ることにより、マネジメントする側の視点からビジネスを見る	講義と演習 フィードバック VTR視聴とレポート	【提出課題】あり ユニバ[授業資料]に提示 (googleフォーム使用) ※課題の返却はしないが、必要に応じて次回以降の授業で課題の振り返りを実施する
第3回	ビジネスモデル事例 ○到達目標 ・様々なビジネスモデルについて理解する ○授業内容 ・実際の事例を通して、企業が行う事業の仕組みを知ることにより、マネジメントする側の視点からビジネスを見る ・技術者としてどのような提案ができるのか、可能性を探る	講義と演習 フィードバック VTR視聴とレポート	【提出課題】あり ユニバ[授業資料]に提示 (googleフォーム使用) ※課題の返却はしないが、必要に応じて次回以降の授業で課題の振り返りを実施する
第4回	USP ○到達目標 ・USPとは何かを理解する ○授業内容 ・USPの事例を紹介、新たな視点、独自の視点で見る マーケティング① ○到達目標 ・マーケティングについて理解する ○授業内容 ・マーケティングの基本を学習する ・開発事例をマーケティング上の分析手法に当てはめて検討する	講義と演習 フィードバック VTR視聴とレポート	【提出課題】あり ユニバ[授業資料]に提示 (googleフォーム使用) ※課題の返却はしないが、必要に応じて次回以降の授業で課題の振り返りを実施する

第5回	マーケティング② ○到達目標 ・マーケティングについて理解する ○授業内容 ・マーケティングの基本を学習する ・開発事例をマーケティング上の分析手法に当てはめて検討する	講義と演習 フィードバック VTR視聴とレポート	【提出課題】あり ユニバ[授業資料]に提示 (googleフォーム使用) ※課題の返却はしないが、必要に応じて次回以降の授業で課題の振り返りを実施する
第6回	マーケティング③ ○到達目標 ・マーケティングについて理解する ○授業内容 ・マーケティングの基本を学習する ・開発事例をマーケティング上の分析手法に当てはめて検討する お客様満足度 ○到達目標 ・お客様満足度について理解する ○授業内容 ・実際の調査アンケートを読み解く	講義と演習 フィードバック VTR視聴とレポート	【提出課題】あり ユニバ[授業資料]に提示 (googleフォーム使用) ※課題の返却はしないが、必要に応じて次回以降の授業で課題の振り返りを実施する
第7回	イノベーションとマネジメント ○到達目標 ・イノベーションについて理解する ・オープンイノベーションについて理解する ○授業内容 ・新しい発想を生み出すワーク ・事例をもとに可能性を考える	講義と演習 フィードバック VTR視聴とレポート	【提出課題】あり ユニバ[授業資料]に提示 (googleフォーム使用) ※課題の返却はしないが、必要に応じて次回以降の授業で課題の振り返りを実施する
第8回	デザインマネジメント ○到達目標 ・デザインマネジメントの考え方を理解する ○授業内容 ・事例をもとに理解を進める ・自身の活動をデザインマネジメントの視点で見る	講義と演習 フィードバック VTR視聴とレポート	【提出課題】あり ユニバ[授業資料]に提示 (googleフォーム使用) ※課題の返却はしないが、必要に応じて次回以降の授業で課題の振り返りを実施する
第9回	マネジメントスキル ○到達目標 ・マネジメントに必要なスキルについて理解する ・人のマネジメントについて理解し、チームのマネジメントを行える ○授業内容 ・チームをどのようにマネジメントすればよいか ・グループワークでチームでのマネジメントを確認する	講義と演習 フィードバック VTR視聴とレポート	【提出課題】あり ユニバ[授業資料]に提示 (googleフォーム使用) ※課題の返却はしないが、必要に応じて次回以降の授業で課題の振り返りを実施する
第10回	プロジェクトマネジメント① (PMBOK) ○到達目標 ・プロジェクトマネジメントの基本となるPMBOKについて概要を理解する ○授業内容 ・プロジェクトマネジメントとは ・もし、プロジェクトマネジメントに失敗したら？ ・PMBOKの概要	講義と演習 フィードバック VTR視聴とレポート	【提出課題】あり ユニバ[授業資料]に提示 (googleフォーム使用) ※課題の返却はしないが、必要に応じて次回以降の授業で課題の振り返りを実施する
第11回	プロジェクトマネジメント② (WBS) ○到達目標 ・WBSについて理解し、作成できる ○授業内容 ・WBSの作成方法 ・身近なプロジェクトを設定し、WBS作成	講義と演習 フィードバック VTR視聴とレポート	【提出課題】あり ユニバ[授業資料]に提示 (googleフォーム使用) ※課題の返却はしないが、必要に応じて次回以降の授業で課題の振り返りを実施する

第12回	プロジェクトマネジメント③（まとめ） ○到達目標 ・作成したWBSの検証 ○授業内容 ・作成したWBSに基づいて実施することで、検証確認し、振り返りを行う	講義と演習 フィードバック VTR視聴とレポート	【提出課題】あり ユニバ[授業資料]に提示 (googleフォーム使用) ※課題の返却はしないが、必要に応じて次回以降の授業で課題の振り返りを実施する
第13回	Webユーザビリティ ○到達目標 ・ユーザビリティについて理解する ・ユーザビリティについて、問題解決を実施できる ○授業内容 ・身近な事例を取り上げ、ユーザビリティ上の問題点を抽出し、解決案を提示する 講義のまとめ	講義と演習 フィードバック VTR視聴とレポート	【提出課題】あり ユニバ[授業資料]に提示 (googleフォーム使用) ※課題の返却はしない
第14回	◇課題解決型授業1 インターネット検索を駆使して、与えられたテーマについて自身の考えをまとめたレポートを作成する。 詳細は、ユニバ「授業資料第14回」に記載。	遠隔授業 実施時期:6期 (11/16～11/30)	提出課題あり ユニバ「授業資料第14回」に記載
第15回	◇課題解決型授業2 インターネット検索を駆使して、与えられたテーマについて自身の考えをまとめたレポートを作成する。 詳細は、ユニバ「授業資料第15回」に記載。	遠隔授業 実施時期:8期 (12/16～1/15)	提出課題あり ユニバ「授業資料第15回」に記載